

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。

書肆心水 FAX 03-6677-0682

# 最後の人間からの手紙

## ネオテニーと愛、そしてヒトの運命について

ダニ＝ロベール・デュフール

福井和美訳

本体2700円＋税

### 性器と脳

それはどのようにしてヒトであることの、このうえないしるしである器官となったのか。知識と快楽を結び合わせる秘密の糸とはどんなものか。

### 遺伝子工学時代のモラリストが鳴らす「現代」への警鐘

哲学・精神分析・文学・科学技術・経済学の混成体たる 21 世紀の倫理学

本書は、哲学風の小説とエッセイの中間を行くスタイルで、ヒトというあり方の歴史全体を訪ねなおす。ヒトを特徴づけているのは形態が未完成で、「生まれつき」弱いということだ（ネオテニー）。つまり自然の不足。この不足を埋め合わせてくれるのが文化（言葉、物語、科学、技術）であり、文化はヒトが世界によりうまく住まうことを可能にした。少なくとも今までは。

ところが今「超人類」の創造という強者の夢が、種の延命を危機におとしめている。人類がたどってきたかくも美しく、かくもひたむきな冒険をさらにつづけようと望むなら、死にうることの幸福と弱きものとしての尊さを肯定すべきだ。抵抗のチャンスはまだ残されている。

#### ダニ＝ロベール・デュフール

1947年生まれ。元パリ第八大学教授。脱宗教化する現代の宗教（現代の神である「市場」）、ポストモダン（脱主体化）の帰結としての人間の機械化（生命工学による人種改良）、ポルノグラフィへと変質するエロチズム、富の集中と世界の貧困化、それらの思想的バックボーンをなすネオ・リベラリズムなどを論ずる、現代フランス思想界屈指の「フィロゾーフ」のひとり。著書、『神なる市場』（2007）『頹廢の都市』（2009）『来たるべき個人…リベラリズムのあとに』（2011）『西洋の錯乱』（2014）等。

#### ●目次

11章	10章	9章	8章	7章	6章	5章	4章	3章	2章	1章				
人類というお荷物をほんとうに片づけるべきか	「たえずより多くもつこと（ハンビ）」という症状	悪魔、そしてネオテニーの情熱	きみ、ぼく、愛、死	めまい、知識、快楽について	人間、神、犬	二本の手、書くこと、文法	オンサ、ぼくじしん、時間	又を、アホロートルを……	ひとよ、みにおいで、ネオテニー	牝豹のように優雅でしなやかな	ぼくそのものが恥ずべきやつ	け仕事の産物なんだ	牝豹のように優雅でしなやかな	愛しいひと、牝豹のように優雅でしなやかなひとよ

新刊 注文取扱返条付 (清藤)	取次番線印	最後の人間からの手紙 ネオテニーと愛、そしてヒトの運命について ダニ＝ロベール・デュフール 福井和美訳 ISBN978-4-906917-66-2 C0010 四六判 320頁 本体 2700円＋税	哲学・現代思想 <b>5</b> 月上旬刊行
	お名前		

ご注文はJRCへ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者 JRC 後藤)